



よこやま まさあき
北海道砂川高等学校 校長 横山 昌明

砂川高校校長に聞きました

砂川高校の いま



平成 16 年に砂川北高校、砂川南高校が再編・統合して開校した砂川高校は、来年度で 16 年目を迎えます。

「夢が見つかる 夢が広がる」をスローガンに、生徒一人一人の将来を全力でサポートする砂川高校。今回、横山昌明校長に「砂川高校の今」をテーマにお話を伺いました。

—早速ですが、砂川高校はどのような学校ですか。

横山 空知管内唯一の普通科単位制の学校で、教員も他の普通科の学校よりも多く配置されていて、選択科目もたくさんあります。

—どのような選択科目があるのですか。

横山 たくさんありすぎて一言では言えないのですが、市立病院附属看護専門学校先生などが行う「看護総合」や学校設定科目の「音楽に親しむ」などは大変面白い科目です。また、「ビジネスマナー」や「ビジネス商業基礎」など、砂川高校にしかない、就職に有利な科目もあります。



—進学状況はいかがですか。

横山 約半数の生徒が進学しており、過去には北見工業大学や釧路公立大学に合格した生徒もいます。砂川高校は教員数が多いため個別指導が得意で、ベテランの先生方からマンツーマンで指導を受けることができるので、進学には大変有利です。

—就職状況はいかがですか。

横山 昨年度は内定率 100% できて、ほぼ全員が希望の会社に内定しています。これも面接練習を多くの先生方と何回も重ねているからだと思います。砂川高校の進路指導は大変丁寧です。私も、進学者・就職者と模擬面接を行っています。

—看護系志望の生徒も多いと聞いています。

横山 砂川高校では看護師を目指す生徒のための授業もやっています。市立病院看護学校 3 人のほか、滝川市立高等看護学院 1 人、駒沢看護専門学校 1 人の指定校枠も持っていますし、ベテランの先生方が個別指導をしていることから、過去には一般受験でも市立病院附属看護専門学校に多く合格しています。

—公務員や介護職を目指す生徒も多いようですが。

横山 砂川市の支援で、札幌の専門学校で行われる公務員対策集中講習の受講料・交通費が補助されたり、介護職員初任者研修の受講料が補助されたりと、頑張る気持ちのある生徒にとってはとても恵まれた環境です。それが公務員や介護職を目指す生徒の増加に結びついていると思います。

—最後に一言、砂川高校の一番良いところは。

横山 何と言っても、先生と生徒、生徒と生徒、先輩と後輩が仲が良いということだと思います。学校全体が温かい雰囲気です。多くの生徒が、居心地の良い楽しい学校だと言っています。